

## 取扱説明書

### PET ボトル保存用

### 真空排気アダプター KZ-2000



「米の保存用真空アダプターとその方法」2025 年特許出願（特願 2025-111106）

米価格の高騰により、せっかく購入できた米を大事に保存したい、でも市販されている容器はとても高価で手が出ないし、麺やパンもあるので大量の米を保存する必要もない。

そんな方のために、簡単で安価に少量を保存できる商品をご提供します。

さらに、使い方を変えれば、米ではなく珈琲豆などの乾燥したものも真空保存できるためこの商品はとても便利です。

飲み終えた PET ボトルを利用し、米や珈琲豆を入れて、専用のアダプターとポンプで真空排気したあと、そのまま真空状態で保存できる方法です。

梱包された商品は写真 1 とこの取扱説明書になります。

もし不足分や商品不具合があった場合は、下記メールにてお知らせください。Email: [sales@tokyohachioji.jp](mailto:sales@tokyohachioji.jp)

#### 【商品構成】

- |                |     |
|----------------|-----|
| 1. 吸引ポンプ       | 1 式 |
| 2. アダプター       | 1 個 |
| 3. パッキン（2 個入り） | 1 組 |
| 4. 取扱説明書       | 1 式 |

#### 【準備】

- PET ボトルを十分に乾燥させたものをご用意ください。  
（使用する PET ボトルのキャップサイズは直径 30mm とします）
- 米や珈琲豆をボトルに入れるために補助用のロートが必要になります。もしロートがなければ、PET ボトルを半分に分けて、これをロート代わりにします（写真 2）。



ただし、PET ボトルの切り口が鋭利なので手を切らないようにご注意ください。

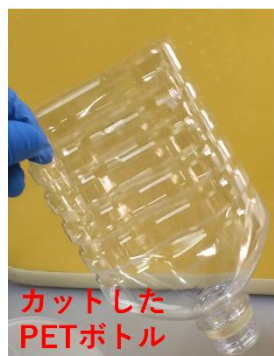


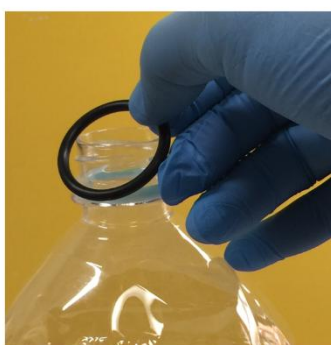
写真 2

#### 【操作開始】

1. パッキンを PET ボトルの口へ押しながら挿入して取付完了となります（写真 3）。



パッキン取付方法



斜めに差し込む



取付完了

写真 3

パッキンを取り外すときは、パッキンの両側を挟んで押すようにしながら膨らみを持たせると PET ボトルから外しやすくなります（写真 4）。

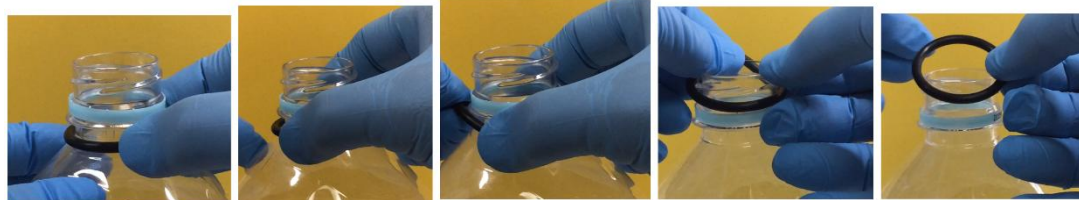


写真 4

**パッキン外し方法：外側から左方向に押す。パッキンが膨れたらつまみで上に引いて外す**

2. 米を PET ボトルに入れます（写真 5）

（ロートや半分にかットした PET ボトルを使います）



米を  
PETボトル  
に入れる

写真 5

3. P E Tボトルのキャップを緩めて、ネジのところにカタカタと当たるくらいの位置にキャップを置きます（写真6）

この緩める理由は、キャップとP E Tボトルの間に隙間ができるので、ここから吸引ポンプで真空排気するためのものです。キャップを緩めすぎると、吸引ポンプで排気した時にキャップがP E Tボトルから外れて吸引ポンプ側に吸い込まれてしまいます。



キャップ付ける      キャップを緩めてネジの部分で上下カタカタできる状態にする

写真6

4. アダプターを差し込んで、パッキンを覆い隠すようにします（写真7）。



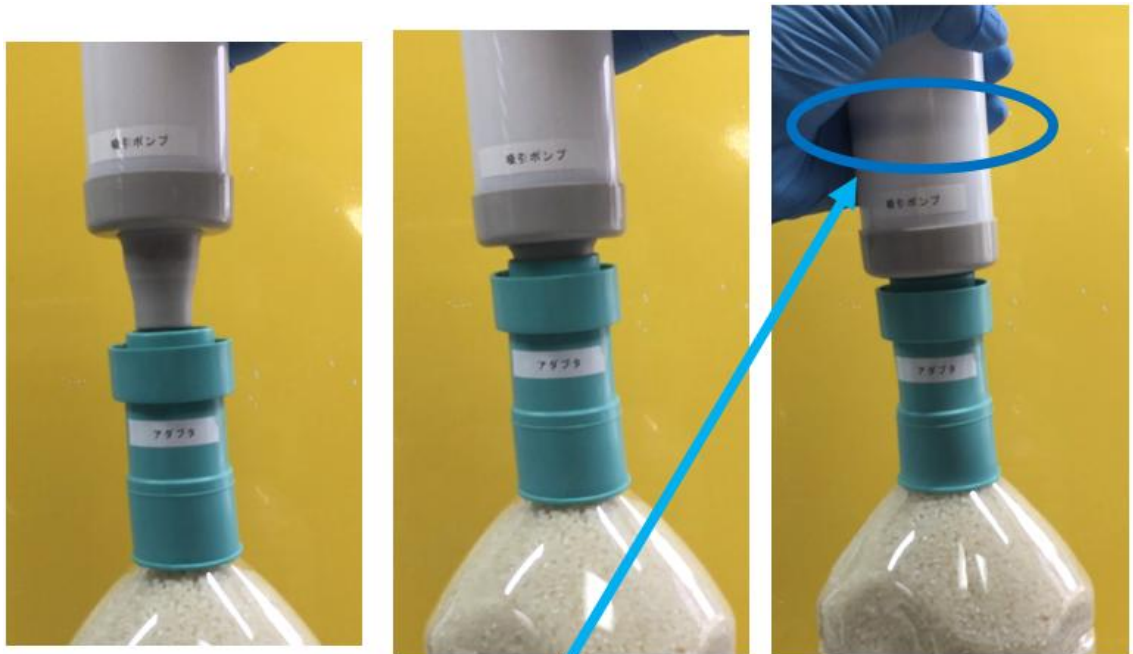
アダプターを取り付ける

パッキンに被せる

写真7



5. 吸引ポンプをアダプターに挿入して、ハンドルを上下させて真空排気します (写真8)。  
真空排気によってPETボトルが変形するのがわかります (写真9)。  
内部のものをより良く真空にするためには、排気の回数を多くして PET ボトルをゆすって内部を攪拌する方法があります。



アダプターの中に吸引ポンプを挿入し、ハンドルを上下させて  
(内部の弁の上下がわかる) 真空排気を行います

写真 8



PETボトルの内部が真空に引かれて凹んだ  
米が少ない場合だと顕著に凹んだのがわかる

写真 9

6. ポンプの吸引を停止して、真空を保持したままで、キャップのある位置をアダプターの外側からつまんで、この PET ボトルをキャップで締めます (写真 10)。 PET ボトルを回しながら、キャップを締めるのがベストです。

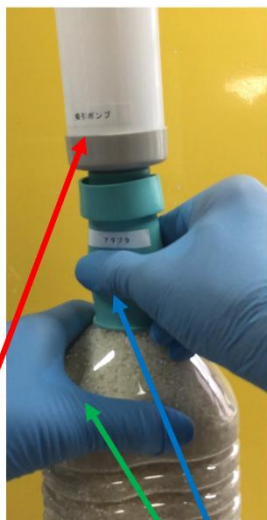
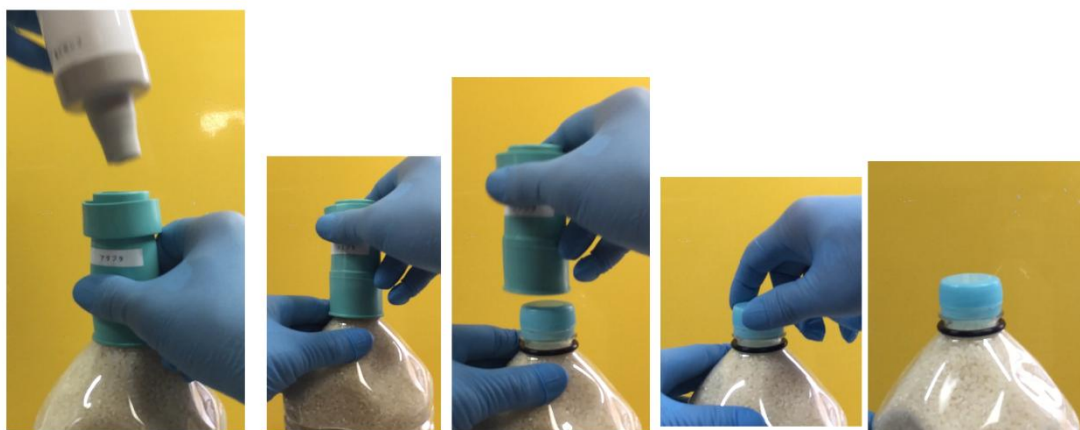


写真 10

ポンプの吸引を停止して、キャップのある部分をアダプター側から押さえ、PET ボトルを回して、真空を保持したままキャップを締める。

7. キャップを締め終わったら、吸引ポンプとアダプターを外し、再度キャップを締めます (写真 11)。



吸引ポンプを外し、アダプターを外し、キャップを再度締めて完了となります

写真 11

8. パッキンは、取り外してもよいし、次に使う時まで、このままにしておいてもよいです。
9. PET ボトルを保管場所に設置して、完了となります。

10. 参考：

珈琲豆の保存方法について以下ようになります（写真12，13）。



珈琲豆をPETボトルに入れ、キャップがネジ部でカタカタできるようにしたあと、アダプターと吸引ポンプで真空排気する



写真12

吸引ポンプとアダプターを外し、キャップを締めて珈琲豆の真空保存が完了

写真13

東京八王子技研

〒193-0812 東京都八王子市諏訪町 86-9

Tel：042-652-0452

Email: [sales@tokyohachioji.jp](mailto:sales@tokyohachioji.jp)

URL: <https://tokyohachioji.jp/>